

労働基準局長無災害記録証授与

HAKUSAN

パイプ曲げ加工専門
白山工業株式会社



白山工業株式会社は、昭和 27 年創業以来、油圧配管チューブ、バンデーチューブ、ハンドレール、ミラースターなどの建設機械部品やバス、トラックの自動車部品、ステンレス放熱管、各種パイプの曲げ加工技術を活かした製品の製造を行っています。

同社は、NC 油圧ベンダー、ロボットベンダー、自動 Tig 溶接機、自動溶接機、高周波ロウ付機、油圧穴空けパンチ式プレス機、燐酸鉄系被膜処理装置などを稼働させ、曲げ加工技術でパイプ部品の産業界への供給に取り組んでいます。

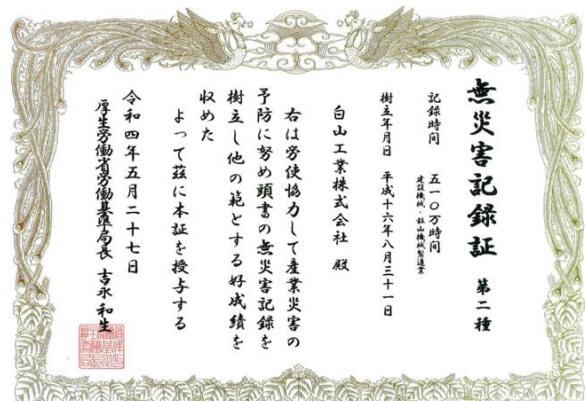
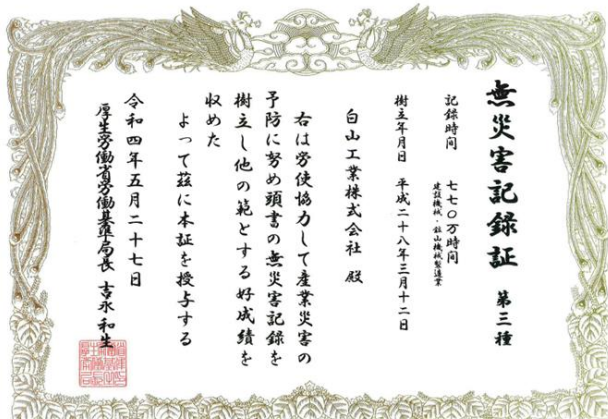
令和 4 年 6 月 1 日かほく市横山ヨ 1 0 2 番 8 の白山工業株式会社（代表取締役社長 山名一伸）が厚生労働省労働基準局長の無災害記録証を野田金沢労働基準監督署長から授与されました。

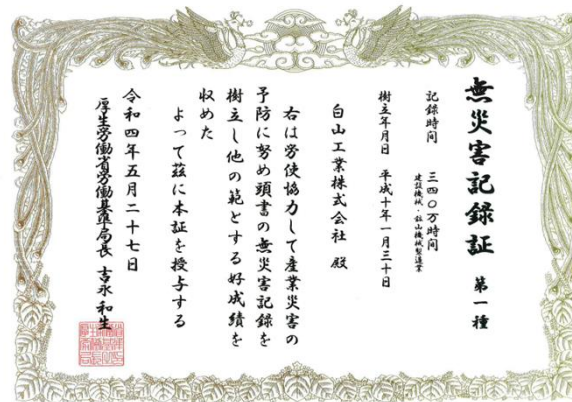


野田署長から記録証を授与される山名社長 無災害記録証を掲げる山名社長と野田署長

同社は、平成 24 年 5 月 29 日から無災害を続け、100 人未満の建設機械。鉱山機械製造業として
第 1 種無災害記録 340 万時間を平成 10 年 1 月 30 日に達成
第 2 種無災害記録 510 万時間を平成 16 年 8 月 31 日に達成
第 3 種無災害記録 770 万時間を平成 28 年 3 月 12 日に達成したことが

厚生労働省労働基準局長から認められ、令和 4 年 5 月 27 日付けで無災害記録証が授与されました。山名社長は、金属加工の作業は、どのような作業にも危険が潜んでおり、ビデオを用いたり様々な工夫を凝らしてリスクアセスメントに取り組んできましたが、ここに来て長年にわたる無災害継続という従業員の努力が認められたことは、本当にうれしい限りですが、それを引き継ぐものの責任の重さも感じていますと野田署長と話していました。





無災害記録証授与一覧に掲載される記事

令和4年6月無災害記録証授与（厚生労働省労働基準局長）」

白山工業株式会社

かほく市横山ヨ102番8

代表取締役社長 山名一伸

建設機械。鉱山機械製造業

資本金 4000 万円 事業場規模 80 名 無災害記録起算日 平成 25 年 2 月 13 日

平成 10 年 1 月に第 1 種無災害記録 340 万時間、平成 16 年 8 月に第 2 種無災害記録 510 万時間

平成 28 年 3 月 12 日に第 3 種無災害記録 770 万時間を達成

【無災害記録継続の極意は？】

当社は小型建設機械向けの油圧配管パイプ加工を行っており、細径で重量も軽く手扱にて製品を運ぶ事が多い職場です。その為約4mの長い製品や、両端に大小異なる部品が溶接されたバランスが悪い製品等も持ち運ぶため、創業より、作業員一人一人が常にお互いの動きを把握し、製品と作業員が接触しないよう思いやりを持って仕事をしよう務めておりました。

平成23年に手狭になった津幡工場から広くゆとりのあるかほく工場へ移転した後も、この精神は忘れないよう心がけております。

近年は主要顧客であるコマツ殿の熱心な指導により、更に安全な工場にすべく日々努力を続けております。

